

用語解説

序

論

基本構想

後期基本計画
戦略

プロジェクト
エグゼクティブ

用語解説

【あ行】

ICT

= 情報や通信に関する技術の総称。Information and Communication Technologyの略称。

アダプトロード

= まちの美化につとめる住民活動と団体を広くアピールし、これらの活動に人々が参加しやすいようにサポートする仕組み。

伊豆半島ジオパーク

= ジオパークは、ジオ(大地)と公園(パーク)を組み合わせた言葉。

伊豆半島は、度重なる地殻変動や火山活動により形成され、2018年にユネスコから世界ジオパークに認定された。

居場所

= 高齢者、障害のある人、子どもをはじめ、地域住民の誰もが気軽に立ち寄り、自由な時間を過ごすことのできる場所。地域での見守りやちょっとした助け合い活動を行う事例も見られる。

イノベーション

= 「革新」や「刷新」、「新機軸」などを意味する言葉で、現在では革新的な技術や発想によって新たな価値を生み出し、社会に大きな変化をもたらす取組を示す。

AI

= 人間の知的能力をコンピュータで模倣する技術の総称。artificial intelligenceの略称。

お達者年齢

= 静岡県が独自に算出している指標で、元気で自立して暮らせる期間として算出した年齢。

【か行】

ガバメントクラウドファンディング

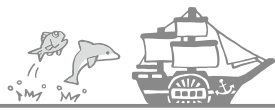
= 自治体が主導するクラウドファンディングのことで、ふるさと納税型クラウドファンディングとも呼ばれる。自治体の事業やプロジェクトに対し、寄附を行う仕組み。

関係人口

= 移住した「定住人口」でも、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々のこと。

官民連携

= 公共サービスの提供において、行政と民間企業が協力し、効率的かつ効果的なサービスを実現するための手法。



GIGAスクール構想

= 義務教育を受ける児童・生徒のために1人1台の学習用パソコンと高速通信環境を整備・活用することにより教育の質を向上させる計画。

企業版ふるさと納税制度

= 国が認定した地方公共団体の地方創生の取り組みに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税を税額控除する仕組み。

救急・安心電話相談#7119

= 急な病気やけがのときに、「病院に行ったほうがいいのか」「救急車を利用したほうがいいのか」「どこの病院で診てもらえばいいのか」など判断に迷った際、専門の相談員（看護師）によるアドバイスを受けることができる、静岡県が24時間開設している救急安心電話相談窓口。

協働

= 異なる立場や組織（市民、NPO、行政、企業等）が、同じ目的の達成に向けて、協力して働くこと。

クリーンエネルギー

= 太陽光や風力など自然由来のエネルギーのこと。特徴として、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が少量であったり、大気汚染物質を出さないことがあげられる。

グローバルCITYプロジェクト

= グローバルはグローバル（地球規模）とローカル（地域的）を組み合わせた造語で、地域への誇りと愛着を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成と、世界に通じる魅力的で持続可能な未来の下田の創出を目指して取り組んでいるプロジェクト。

ゲートキーパー

= 悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人のこと。

KPI

= 目標に対する各プロセスの達成度合いを評価するための指標。Key Performance Indicatorの略称。

健康マイレージ

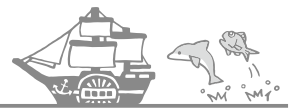
= ウォーキングや健診受診などの健康活動に応じて、ポイントが付与される制度で、健康的な生活習慣が身につくことを応援する仕組み。

こども家庭センター

= 市の母子保健機能と児童福祉機能が一体的に妊産婦や子育て家庭への相談支援に対する窓口。早期から切れ目のない包括的で継続的な支援を実施することを目的としている。

コミュニティスクール

= 学校と保護者や地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み。



【さ行】

再生可能エネルギー

= 太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマス等を指し、エネルギー源として永続的に利用できると認められるもの。

サロン

= 地域住民が分け隔てなく集まり、協働で企画、運営する福祉コミュニティ。交流の場として、健康づくりやレクリエーション等が行われる。

資源管理型漁業

= 海の生態学的条件を考慮し、水産資源の維持、増大など合理的資源管理を行いながら、経済的利益を最大限かつ安定的に得るための漁業。

下田ブランド

= 下田ブランド策定委員会が主導する、地元民が自信を持っておすすめできる逸品として認定した地場産品を全国へ発信するプロジェクト。

下田まち遺産

= 本市の「自然・歴史・文化人の暮らし」に関連する貴重な資源のうち、「下田の象徴」「下田らしさ」「下田の人々の誇り」「次代への継承」に値するものとして、市が認定したもの。

災害ボランティアセンター

= 災害発生時にボランティア活動を効率的に推進するため、被災地での支援活動を調整・管理する拠点。

縮小スパイラル

= 人口減少や経済の縮小が相互に影響し合い、経済活動がさらに低下する悪循環のこと。

ストックマネジメント

= 下水道事業等で、機能診断、劣化予測を経て、適切な対策工法のシナリオを策定し、ライフサイクルコスト（企画や設計から解体に至るまでの総費用）の低減効果が高い保全対策方法の計画を策定する一連の技術体系。

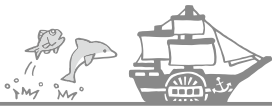
総合型地域スポーツクラブ

= 地域住民が主体となり、子どもから高齢者まで幅広い世代が、本人の志向・レベルに合わせて、様々なスポーツに参加できるスポーツクラブ。

【た行】

脱炭素社会

= 二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの排出量を“実質ゼロ”にすることを目指す社会。



地域共生社会

= 制度・分野ごとの縦割りや支え手、受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。

地域支え合いセンター

= 被災者が、それぞれの環境の中で安心した日常生活を営むことができるよう、応急仮設住宅の供与期間中、孤立防止等のための見守り支援や、日常生活上の相談を行うとともに、被災者を関係支援機関へつなぐ等の支援を行う施設。

地域包括ケアシステム

= 重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制。

つながる下田事業

= 下田高校の生徒と地域の大人が協働して、地域活性化に取り組む事業。

DX(デジタルトランスフォーメーション)

= ビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

デジタルデバイド

= インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差を指し、そこから社会的に分断が起こること。日本語では、「情報格差」とも言われる。

デジタルノマド

= インターネットを利用して自由に仕事をしながら世界中を旅するライフスタイルのこと。

【な行】

南海トラフ巨大地震

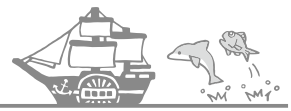
= 駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域を震源域として発生が想定される巨大地震。

二地域居住

= 都市と地方にそれぞれ拠点をもち、自由に行き来して生活すること。

日中活動系福祉サービス

= 障害のある人が通所施設等に通所し、日中の時間帯の活動を提供するサービス。療養介護、生活介護、自立訓練、就労移行支援等を指す。



ネーミングライツ

= 公共施設の「施設名」に企業名やブランド名などの愛称を付ける権利のこと。企業は公共施設の命名権を購入してスポンサーとなることで、自治体は維持管理費等の負担軽減につながる。

【は行】

ビッグデータ

= 従来のデータベース管理システム等では記録や保管、解析が困難なほど巨大で複雑なデータの集合。

PDCAサイクル

= Plan (計画) Do (実行) Check (評価) Action (改善) を繰り返すことによって、生産管理や品質管理等の管理業務を継続的に改善していく手法。

ファシリテーター

= 会議などの場で参加者の発言を促したり、話をまとめたりすることで、話し合いをより良いゴールに導く進行役。

フロンティア

= 新たな挑戦に対する気概を持ち、新たな取組を創造するきっかけとなる場所。

ふるさと納税制度(ふるさと応援寄附制度)

= 自分の選んだ自治体に寄附(ふるさと納税)を行った場合に、寄附額のうち2千円を超える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度。

フレイル

= 主に加齢を起因とする、身体機能の急激な衰え。

ポータルサイト

= ユーザーがインターネットにアクセスするときの入り口になるサイト。

【ま行】

MaaS

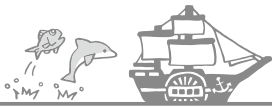
= Mobility as a Serviceの略称で、「マース」と呼ばれる。出発地から目的地まで、利用者にとって最適経路を提示するとともに、複数の交通手段やその他サービスを含め、一括して提供するサービス。

マイナ保険証

= 健康保険証の利用登録がなされたマイナンバーカード。

モビリティマネジメント

= 一人ひとりの交通行動を、自動車から公共交通や自転車利用へ自発的に転換することを促すコミュニケーションを中心とした交通政策。



【や行】

Uターン

= 出身地から他の地域に移住した人が再び故郷に戻ることを指す「Uターン」と、出身地外へ移住することを指す「Iターン」を併せてUターンと呼ぶ。

【ら行】

リブランディング

= 既存のブランドのイメージや戦略を見直し、新たな価値を創出する取組。

リカレント教育

= 学びと仕事を往復しながら、仕事に役立つスキルを身に付けていくこと。

歴史的風致形成建造物

= 歴史的な建造物であって、地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のために保存を図る必要があると認められるもの。

6R県民運動

= 静岡県独自のプラスチックごみ削減のための運動。6つのRはRefuse^{リフューズ}（レジ袋を断る）、Return^{リターン}（店頭回収を利用する）、Recover^{リカバー}（清掃活動に参加する）、Reduce^{リデュース}（マイバッグを持つ）、Reuse^{リユース}（容器等を繰り返し使う）、Recycle^{リサイクル}（資源回収に出す）のこと。

6次産業化

= 1次、2次、3次それぞれの産業を融合することにより、新しい産業を形成しようとする取組。生産者（1次産業）が加工（2次産業）と流通・販売（3次産業）も行い、経営の多角化を目指すもの。

【わ行】

ワーク・ライフ・バランス

= 働く全ての人々が、仕事と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動という仕事以外の生活との調和をとり、その両方を充実させる働き方、生き方。

ワーケーション

= ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語で、観光地等でテレワークを活用して働きながら休暇を取る過ごし方。